

地方創生関連交付金事業(令和4年度実施事業)実施結果報告
 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

栃木県野木町

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)			⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値 (対前年度指標値)	目標年月	実績値 (対前年度実績値)	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	「恋人の聖地」広域市町村連携による関係人口拡大に向けたバーチャルコンパクトシティ事業	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	26,786,554	観光入込数(人)	2,300,000人増	令和5年3月	3,380,912人増	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・完成したポータルサイトの宣伝が足りていないように感じる。例えば広報紙などにQRコードを掲載してアクセスに繋げるなどの取り組みも必要だと思う ・こうしたプラットフォームを作ることはいいいのだが、掲載されている情報が古かったりすると逆効果になることもあるので注意が必要だと思う。 ・町に来たいと思ってもらうためには、どこかでオフラインで人と人が会って何かしら仕掛けていくことが重要だと思う。	Web上に14市町村共同の「仮想シティ」を開設し、サイト内に様々な仕掛けを施したうえで、14自治体の関連事業の情報を掲載したことで、恋人の聖地プロジェクトのメインターゲットである“若者”に対して、町の魅力を発信する新たなツールとなっただけでなく、これまで町と接点のなかった人々へのアプローチに繋がりを、将来的な関係人口の拡大に向けた基礎を築くことができた。 また、「観光交流促進強化連携事業」、「若者・子育て世代交流促進事業」、「関係人口の創出拡大事業」として、関連する様々な事業を町独自で展開し、本事業の目的でもある関係人口や移住・定住者の増加に向けて、「町の魅力」の磨き上げに繋がったことから、引き続き14市町村で連携を図りながら本事業に取り組み、町の魅力発信と関係人口の拡大を目指す。	
			仮想市民登録数(件)	1,820件 (1,820人増)	令和5年3月	1,917人 (1,917人増)						
			地方志向者の魅力度数(%)	33% (3%増)	令和5年3月	51% (21%増)						